

特集 変化を畏れず成長するいまがある

～道民児連民児協のあり方検討委員会レポート～

インフォメーション

- 令和5年度事業報告・収支決算…………… 5
- 春の褒章・叙勲 …………… 6
- おすすめ書籍「ブックレビュー」…………… 8
- エッセイ：ひとをつなぐ
「⑩面倒のバロメーター」…………… 8



変化を畏れず成長するいまがある

～道民児連民児協のあり方検討委員会レポート～

令和6年3月、民児協のあり方検討委員会（以下、検討委員会）より

令和5年度の答申を受けました。

道民児連は、答申内容を参酌して今後の事業運営につなげていきます。

検討委員会委員長より「取り組みのふりかえりと展望」のレポートをいただきました。

【民児協のあり方検討委員会への諮問事項】

- (1) 支え合う民児協づくりを目的とした民児協運営のあり方の研究および提案に関する事項
- (2) 民生委員児童委員の研修のあり方の研究および提案に関する事項
- (3) 民生委員児童委員のなり手不足の課題に関する研究および提案に関する事項
- (4) 第3次北海道民生委員児童委員活動指針の進捗状況の評価に関する事項
- (5) 道民児連市町村民児協活性化事業モデル指定民児協の選考に関する事項
- (6) 前各号に掲げるもののほか、目的を達成するために必要な事項

【民児協のあり方検討委員会からの答申内容】

- 提案事項1 活動指針に関する取り組み実践事例集の作成について
- 提案事項2 協働を意図した福祉専門職を対象とする啓発研修について
- 提案事項3 新北海道民生委員児童委員活動スタイルの取り扱いについて
- 提案事項4 研修視覚教材のオンデマンド配信について
- 提案事項5 市町村民児協ヒアリングおよびケーススタディについて
- 提案事項6 市町村民児協同士の交流研修の奨励について
- 提案事項7 民生委員児童委員のためのワークショップのすすめの改訂について
- 提案事項8 中堅民生委員児童委員教室の新たな展開について





鳥居一頼委員長

敬意と感謝を

私は検討委員会を担って早5年目を迎えました。

強い感染力を持った新型コロナウィルスに細心の注意を払いながら、日常の暮らしを取り戻す努力をしている地域福祉の担い手が民生委員児童委員（以下、「委員」）であることは、まがいもない事実です。

この4年の歳月は、まさに地域において委員の底力を如実に見せたと言っても過言ではありません。決してくじけず、できる限りの可能性を見出しながら活動を継続してきました。

振り返れば、いま二期目を担っている委員の多くは、コロナ禍の真っ只中で新任の委嘱を受けました。活動のスタートから初っ端を挫かれ、大きな試練に採られた人たちです。先輩たち

も初めての事態に戸惑いながら、十分なサポートも出来ずに悩んだことでしょう。本来の活動もままならず、志半ばにしてリタイヤした人も少なくないはずです。感染予防の潔癖なまでの対策が、当事者との距離をお互いに遠ざけてしまったことも否めません。

昨年5月、新型コロナウィルス感染症が感染症の5類に移行されました。しかし、規制が緩和されたとはいえ、いまだ感染力は衰えを知らず、ワクチンや後遺症に苦しむ人の報道も事欠きません。感染に配慮しつつ暮らさねばならない社会は、まだまだ続いているのです。特に老人福祉や医療に従事する人たちは、感染しないさせないを徹底してケアや医療の現場を支え続けています。

そのような状況下で、コロナ禍のダメージを拭い去り、普段の活動を取り戻すことに真剣に取り組み委員の真摯な姿勢に、改めて敬意と感謝を捧げます。

コロナ禍に改革の時を刻む

コロナ禍の3年間、道民児連の研修事業がごとく中止に追い込まれました。しかしこれ

は、危機を好機に変える機会ともなりました。従来の研修事業の見直しと検証に十分な時間と思索がもたらされることになったからです。検討委員会を立ち上げ、プログラムの見直しや改善のアイデアが、答申というカタチに結実。特に多くのアンケート調査を実施し、その分析結果を持って事業改革の根拠とすることの説得力は大きかったと考えています。

さらに実施できた事業では、全てアンケート調査を行って改善の成果物を適時に確認し、あわせてそこから見えてきた課題や改善点にも着目。そこに検討委員会での論議も踏まえて、さらなるステップアップを可能としました。事業アンケートは、事業中止にあえいだ令和2年度は3本、令和3年度は2本でしたが、令和4年度はモデル事業を含め6本、さらに昨年度は10本に及びました。

これらの結果を数量化して検証すると同時に、改善にあたっては常に参加者の意見を尊重しつつ構築するというスタンスで臨みました。ブレない研修を実現するための明日への展望を見出す貴重なデータであり、道民児連が組織として改革に注力する根拠ともなっていたのです。

その間の道民児連事務局の取り組みについて、日本福祉大学の

原田正樹学長は「民生委員・児童委員の実態に関する調査報告書」（2024年2月刊・研究代表者小松理佐子氏）の「第6章民生委員児童委員協議会の事務局機能について」北海道民生委員児童委員連盟の事例を通して」という論文の中で、コロナ禍での奮闘ぶりを高く評価されました。

原田氏は、令和4年に道民児連事務局スタッフにヒアリングを行い、「なり手の確保・研修・負担の軽減」という3つの課題について、その取り組みの実態に即した改革の現実性を評価されています。時と場に応じた様々なアンケート調査についても高く評価し、分析結果をいかに有効に活用し事業に反映していることもあわせて、道行政に対して意見具申する際の説明根拠になっていることにも言及されました。

原田氏は、道民児連の強みは「中長期のビジョン」にあると指摘されました。それは常に委員を取り巻く状況の変化（現状や課題）を掌握し、その解決のためのビジョンを構築。そして常にどのようなテーマやプログラムが必要なのかを練り上げ、時には社会的発信力を強めて臨む活動姿勢のことです。

原田氏のヒアリングでは、活動の継続化、活動の質の担保、持続可能な仕組みづくりのためには、道民児連も含め市町村民児協には専門性の高い担当者と事務局体制の整備が必要であるとまとめられています。

検討委員会としても、民児協の事務局担当者の研修事業（スキルアップ）を、民児協の体制強化のひとつであると提言してきた経緯から、民児協事務局職員研修会を令和5年度試行したが、今年度より事業計画に位置づけて実施しています。

ここ4年間の改革は、委員と共にそのおもしろい束ね、地域の福祉活動を活性化し現場力を高めていくものだとして改めて確信しているところです。



令和6年度民児協事務局職員研修会

■新たな提言を掲げて前へ

新たな提言も求められませんでした。研修事業へのたゆまない改革への取り組みは、さらなる一步を踏み出すためのもの。本委員会への諮問事項について、令和5年度のまとめとして答申しました。

今年元旦、能登半島地震が発生して衝撃が走りました。そこには被災を受けながらも献身的に活動する民生委員の姿が見られました。いまだ復旧にはほど遠い地域もあり、手厚い支援が求められている。令和6年度の全道民児協会長副会長研究協議会でのメインテーマはまさに防災の一点であり、能登半島地震を我がごととして考える契機となりました。

道民児連は令和3年度から新規事業として「災害に備える民

研修動画配信

はじめました!

仕事で研修に参加できない自分のペースで学びたい長時間、家を空けられないそんな方はオンデマンド配信をご利用ください。

こんなことが学べます。

- 民生委員児童委員の基本的役割
- 活動記録の記入方法
- 住民交代のやり方
- 災害に備える活動
- 災害ハンドブックの解説 などこれらどんどん増えていきます

2) 関係機関との連携、調整、協議

リスクを導き北海道一地域にあわせた実践を

ユザー名 domin
パスワード 2181

(公財) 北海道民生委員児童委員連盟
Tel. 011-261-2181 FAX 011-261-3081 E-mail info@dominren.or.jp

生委員児童委員シンポジウム」を開催したり、防災の仕組み作りのモデル事業や「災害に備える民生委員児童委員ハンドブック」の改訂などの普及啓発も事業化したりして取り組んできましたが、日々の暮らしにいか根付かせるのか、委員の意識高揚とあわせて課題は山積したままです。

「第3次北海道民生委員児童委員活動指針」(以下、「活動指針」)に関する進捗状況の実態把握と評価は、重要な案件です。「市町村民生委員児童委員協議会等基本調査」(以下、「基本調査」)や「道民児連関連事業の取り組み実態及び意向に関するアンケート調査」などを踏まえた実態把握と、基本調査から抽出した民児協へのヒアリングによる確認作業や市町村民児協による確認作業におけるモデル指

定民児協の事業内容に着目し、終了後の報告者から活動指針との相関性を検証しつつ、「実践事例集」の取りまとめに改善を加えたいと考えていま

す。

また、研修視聴覚教材について、コロナ禍では様々なDVDを作成し配布。しかし委員の手に教材や再生機器がないといった理由で利用が難しい課題も浮き彫りになったことからオンデマンド(YouTube)配信が委員個人や民児協内部での研修でこそ寄与するものと考え、すでに災害関連等についての配信を試みています。

さらに、民児協の内部研修に留まらず、コロナ禍で敬遠されてきた視察研修なども先駆的な実践を学ぶ目的で実施される機会も多くなってきました。このことよって訪問地で共に学び合うというグループワークスタイルの研修の成果を知るとこ

■いまをどう捉え明日はどうつながるか

検討委員会の目線は、現場で頑張る委員の立ち位置を確かめ、ともに課題の解決に向かいたいという一点です。なり手不足は、次の改選時に大きな壁として顕在化します。道民児連は、先般4月に開催した地区・市支部長セミナーにおいて「令和7年度一斉改選に関する諸課題と事務手続きのスケジュールについて」を示しました。すでに改

るとなり、是非他の民児協との自主研修事業を進めていただきたく、奨励を言いたいと思います。

初任者研修における詩編を用いたワークショップも5年を数えました。当初は、詩編も少なく、初めての学習体験で戸惑う委員もいたようです。研修後の評価では9割以上が高評価を下し、新任に留まらず、地区の役員も数多く履修するようになりました。中堅教室は過去のスタイルを一掃し、リーダー養成とファシリテーター養成の二つのプログラムに分け、2年間モデル事業を実施しました。民児協の内部研修の充実とコミュニケーションの活性化を目的としたワークショップは、管内や市レ

選の準備を始めなければならぬ事態だと認識しなければなりません。

民児協の人材育成は、研修も含め日常的な活動支援も常に念頭に置いて為さねばならないことであり、連動して任期途中や短期のリタイアの現状を改善するためにも、民児協内のよりよき人間関係の構築や研修に尽力しなければならぬと考えています。

変化を畏れない。変化こそ成長の証である。言うは易し行う

ベルで是非やりたいという多くの要望に添えてすでに日程が組まれました。関連して、テキスト『ワークショップのすすめ』を改訂する準備も進めたいと思います。

また、道民児連では重点事業として住民交代マップの推進を図ってきた経過があります。民児協の取り組みには温度差があり、全道的な普及には至っていない状況にあります。住民交代マップは、活動指針の下支えとなる重要な取り組みであることから、検討委員会の下、今後の取り組みのあり方について精力的に協議を進めることとしたいと思います。

は難しですが、検討委員会は「為すことよって知る」ことをモットーに、道民児連の果たすべきミッションに持てる力を注ぎつつ、民児協の委員や事務局の皆さんと共に「行動する福祉ビジョン」を描きたいと思

改革の時は熟しました。コロナ禍での休眠状態から目覚め、事務局をサポートし事業推進のエンジンをギアアップして臨むことを約束します。

令和5年度 事業報告

1. 新型コロナウイルス感染症は、人びとのライフスタイル、社会の仕組み、そして価値観に大きな影響を与えた。少子・高齢人口減少社会はますます進行し、経済環境の悪化や所得格差の拡大、家族関係や地域社会におけるつながりの希薄化など、さまざまな社会課題を抱える今日にあって、コロナ禍はまさに人びとの生きにくさを助長する大きな困難であったと言える。しかし、感染症が一定の収束を見せたことにもとない、令和5年5月、5類指定感染症へと見直された。このことで、停滞していたさまざまな社会活動は再始動し、民生委員児童委員活動においても、コロナ禍で培った活動形態を踏まえつつ、時勢に応じた新たなスタイルで活動が進められている。

その中において、本連盟が主催する研修事業については、これまでの経験を活かしてオンライン等も活用した展開を図ってきた。結果、感染症の拡大を理由とした研修事業の中止はなく、すべての研修事業を計画通り履行できた。この成果をもつて、本連盟の研修事業においてコロナ禍に一定の区切りをつけることができたと考えている。

一方、今年度はコロナ禍の副産物ともいえる新規事業を実施した。オンラインサロンである。コロナ禍において積み上げたオンラインのノウハウを活かし、主任児童委員を対象としたオンラインによるサロンを2日程にわたって実施した結果、参加者からは高評価を得ている。ネットワーク形成にあたりその広域性がハンデキャップになる北海道において、委員活動の充実を図る新たな手段として、オンラインサロンは大きな可能性を秘めている。事業の一般化に向けた取り組みを継続することとしたい。

2. 今年度は一斉改選の翌年に当たったため、市町村民生委員児童委員協議会等基本調査を実施した。単位民児協の調査回答率は94%

3%を数え、今後の民生委員児童委員活動を考えていくにあたって貴重な資料を作成することができた。本調査に協力いただいた関係者に感謝申しあげたい。この調査の結果、本連盟主催の第3次北海道民生委員児童委員活動指針の重点推進項目である「委員同士が支え合える民児協の活性化」に関連する取り組みが、コロナ禍にも関わらず増加傾向にあることが確認された。委員のなり手不足の課題や、ウィズコロナ時代の到来が民児協機能を活性化させた要因であると分析している。

一方、道民児童連災害時対応ガイドラインにそつて、令和5年11月、災害に備えることをテーマとした研修会を実施した。オンラインも含め500名を超える参加があり、普及・啓発事業としては一定の成果があった。この研修会の内容はオンデマンドでも配信する予定としており、先に発行した災害に備える民生委員児童委員ハンドブックに合わせ、日常的な災害に備える、学びの環境を整備する計画である。

また、民児協のあり方検討委員会を常設設置して1年が経過した。この間、市町村民児協活性化事業モデル指定民児協の選考や、本連盟事業に関する提案を中心とした答申をいただいている。答申書で示された内容は、多角的な見地で現状を客観的に指摘しており、今後本連盟が事業に対する視座を高めるにあたって必要な事項を示唆している。お忙しい中4回にわたる委員会にて、積極的な議論をいただいた委員の皆様には感謝を申しあげたい。

令和5年9月、全国民生委員児童委員連合会において、令和7年度の全国民生委員児童委員大会を北海道で開催することが決定した。このことにもない、札幌市民生委員児童委員協議会との共同により9月22日に実行委員会を立ち上げ、以降各種打合せを重ねている。令和7年度の開催に向けて滞りなく準備を進めることとしたい。

3. 法人運営関係会議の開催にあたっては、今年度からオンラインは取り止め、対面による開催に移行した。いずれの会議も滞りなく履行することができた。今年度は理事の改選があったが、正副会長を含めすべての理事が留任となった。

また、本連盟の財務状況について、令和2年度に策定した「道民児童連中長期財務指針」にもとづき、周年事業に備えた活動強化基金積立資産への積立を行うことができた。しかしながら、物価高の影響を受け全体的な正味財産増減は若干の赤字となったことから、財務の効率化を始め今後も適正な管理に努めていきたい。

そして、令和6年元旦に発生した能登半島地震は記憶に新しいところであるが、被災地域の皆様の安心・安全と、平穏な日々が一日も早く戻りますことを心よりお祈り申しあげたい。本連盟は、全国民生委員児童委員連合会が運営する「被災地民児協支援募金」への寄附金を市町村民児協に呼びかけたところ、多額の浄財が寄せられた。このことについても深く感謝を申しあげたい。

公1 民生委員児童委員の資質向上のための研修事業

ア 研修・研究協議事業

(ア) 全道民児協会長・副会長研究協議会開催事業

- 令和5年6月6日(火)～7日(水)
札幌市・札幌パークホテル 672名
(対面545名、オンライン127名)
- 令和5年8月23日(水)～24日(木)
札幌市・札幌パークホテル 459名
(対面317名、オンライン142名)

(ウ) 中堅民生委員児童委員教室開催事業

- 【リーダースキル養成型研修】
令和5年10月19日(木)～20日(金)
小樽市・小樽経済センタービル 16名
- 【ファシリテーター養成型研修】
令和5年10月27日(金)
厚沢部町・厚沢部町保健福祉センター14名

(エ) 民生委員児童委員活動推進講座開催事業 札幌会場 令和5年8月29日(火)

札幌市・北海道自治労会館 65名
オンライン 159名
旭川会場 令和5年8月30日(水)
旭川市・旭川市公会堂 356名
苫小牧会場 令和5年8月31日(木)
苫小牧市・苫小牧市民会館 164名

函館会場 令和5年9月1日(金)
函館市・函館市民会館 206名
釧路会場 令和5年9月4日(月)
釧路市・釧路センターリキヤッスルホテル 221名

北見会場 令和5年9月5日(火)
北見市・北見芸術文化ホール 211名
合計 1,382名

(オ) 民生委員児童委員専門研修事業

空知管内 令和5年9月20日(水)
岩見沢市民会館文化センター1286名
石狩管内 令和5年9月14日(木)
シャトレーゼガトーキングダムサッポロ 217名

後志管内 令和5年9月28日(木)
余市町中央公民館 98名
胆振管内 令和5年7月28日(金)
苫小牧市民会館 279名
日高管内 令和5年9月8日(金)
日高合同庁舎 37名
渡島管内 令和5年7月20日(木)
函館市民会館 350名

檜山管内 令和5年9月22日(金)
乙部町民会館 52名
上川管内 令和5年7月7日(日)
旭川市大雪クリスタルホール149名
留萌管内 令和5年11月16日(木)
留萌市中央公民館 62名

宗谷管内 令和5年6月30日(金)
稚内総合文化センター120名
オホーツク管内 令和5年10月17日(火)
紋別市民会館 219名
十勝管内 令和5年6月26日(月)
帯広市民文化ホール 226名
釧路管内 令和5年8月2日(水)
釧路センターリキヤッスルホテル 177名
根室管内 令和5年7月14日(金)
羅臼町民体育館 70名

合計 2,342名
(カ) 民生委員児童委員初任者研修事業
空知ブロック 令和6年2月1日(木)
三笠市民会館 16名
石狩・後志ブロック 令和6年2月21日(水)
北広島市芸術文化ホール 85名

胆振・白糠ブロック 令和6年2月22日(木)
だて歴史の杜カルチャーセンター127名
渡島・檜山ブロック 令和6年2月27日(火)
北斗市総合文化センター 39名
上川・留萌ブロック 令和6年1月24日(木)
名寄市役所 37名
宗谷ブロック 令和6年2月14日(水)
稚内総合文化センター 18名
オホーツクブロック 令和6年2月8日(木)
オホーツク・文化交流センター150名
十勝ブロック 令和6年3月5日(火)
音更町総合福祉センター 28名
釧路・根室ブロック 令和6年2月6日(火)
釧路センターリキヤッスルホテル20名
合計 320名

イ 民生委員児童委員(民児協)活動支援事業

(ア) 民生委員児童委員(民児協)活動支援事業(講師等派遣)
(1) 講師等派遣 14件
(2) 研修受入 7件 122名
(3) 視聴覚教材等の貸出 10件
(4) 道民児童研修ビデオシリーズ研修用DVDの提供 23市町村民児協 111名
(5) 道民児童おしゃべりサロン(オンラインサロン)の実施
令和6年2月16日(金) 12名(10市町村)
令和6年2月29日(木) 9名(7市町村)

公2 道民への普及啓発事業及び調査研究事業

ア 民生委員児童委員に関する調査研究事業

(ア) 調査研究事業

住民支え合いマップ研究協議会の開催
 (地域支援調査事業)
 令和5年7月5日(水)
 札幌市・札幌パークホテル 2663名
 (対面67名、オンライン196名)
 (イ) 市町村民生委員児童委員協議会等
 基本調査事業
 調査期間 令和5年7月18日～8月31日
 (調査時点:令和5年4月1日)
 回答数(回収率)
 単位民生協397件(94.3%)、市連合
 民生協27件(100%)、地区支部14件
 (100%)

(ウ) 道民児連関連事業の取扱い実態および意向に関するアンケート調査事業

調査期間 令和5年9月22日～10月23日
 (調査時点:令和5年4月1日)
 回答数(回収率)
 市町村民生協事務局124件(69.7%)
 (イ) 一般道民への普及啓発事業
 (ア) ホームページ開設事業
 更新 40回

(イ) 民生委員児童委員の日(5月12日・済世顧問制度の創設日)ならびに民生委員児童委員活動強化週間事業(5月12日から5月18日まで)・民生委員児童委員活動資料の作成・配布事業

(1) 民生委員・児童委員の日(5月12日・済世顧問制度の創設日)ならびに民生委員児童委員活動強化週間事業(5月12日から5月18日まで)の推進
 (2) 市町村民生協が行う住民への広報活動や支援活動のための各種資料の作成・配布、頒布実施
 ・民生委員児童委員パンフレット(世帯訪問・街頭啓発用)の配布 100,480枚
 (3) 特別企画「子どもに向けた活動PR大作戦」の実施

(ウ) 関係機関・団体等との普及啓発事業

・フリーペーパー「みんせい!」の配布
 30市町村民生協38,887部
 (4) 実施報告書の作成
 (5) 全国民生委員児童委員連合会との連携
 (6) 民生委員・児童委員の活動普及啓発パネルの実施
 ・令和5年5月18日(木)～19日(金)
 北海道庁 来場者延228名
 (7) 民生委員児童委員活動に関する周知資料の作成・配布
 ・令和5年度市町村民生委員児童委員協議会等基本調査報告書 730部
 ・特別企画「子どもに向けた活動PR大作戦」実施報告書 ホームページにアップロード
 ・民生委員・児童委員の日ならびに民生委員児童委員活動強化週間事業令和5年度市町村民生協取り組み報告書 ホームページにアップロード
 ・災害に備える民生委員児童委員ハンドブック(令和4年度版) 320部
 ・民生委員児童委員活動記録Q&A 320部
 ・パンフレット「新たに民生委員児童委員、主任児童委員になられる皆さんへ」320部
 ・ブックレット「林 市蔵」 320部
 ・道民児連研修ビデオシリーズvol.12「令和5年度住民支え合いマップ研究協議会」
 ・道民児連研修ビデオシリーズvol.13「障碍を抱えて働くとは」
 ・道民児連研修ビデオシリーズvol.14「災害に備える民生委員児童委員活動研修会」

(ウ) 関係機関・団体等との普及啓発事業

(1) 各関係機関・団体等の理事、評議員、委員への就任協力
 (2) 関係機関・団体に対する啓発と連携
 (3) 全国民生委員児童委員連合会事業の協力及び東北東・指定都市民生協との連携
 ・評議員セミナー 令和5年9月29日(金) 東京都 2名参加
 ・令和5年度第92回全国民生委員児童委員大会
 令和5年11月21日(火)～22日(水)
 広島県広島市 144名参加
 ・令和5年度北海道・東北ブロック道県・指定都市民生協協会長等会議
 令和5年6月22日(木)～23日(金)
 青森県青森市 6名参加
 ・令和5年度全国民生委員指導者研修会
 令和6年1月31日(水)～2月2日(金)
 神奈川県 1名参加
 ・令和5年度全国児童委員、主任児童委員活動研修会
 令和5年12月7日(木)～8日(金)
 千葉県千葉市 4名参加
 ・全国民生委員児童委員連合会理事会への参画(佐川会長)
 ・全国民生委員児童委員連合会評議員会への参画(佐川会長、梅田副会長)
 ・全国民生委員児童委員連合会総務部会への参画(佐川会長)
 ・全国民生委員児童委員連立児童委員活動推進部会への参画(梅田副会長)
 ・全国民生委員児童委員連立広報・研修部会への参画(船橋副会長)
 ・全国互助共励事業企画連絡会議への参画(佐川会長)
 ・全国互助共励事業運営委員会への参画(佐川会長、梅田副会長)
 ・全国民生委員児童委員連立の調査協力
 ・令和7年度全国民生委員児童委員大会実行委員会への参画(佐川会長、梅田副会長)
 ・札幌市民生委員児童委員協議会との連携
 ・都道府県・指定都市民生委員児童委員協議会事務局会議への出席(鎌田主査、田中主査)
 (4) 全児童連作成民生委員児童委員活動に関する資料の配布協力
 (5) 北海道との連携
 ・北海道社会福祉協議会への参画(佐川会長)
 ・子ども未来づくり審議会への参画(梅田副会長)
 (6) 北海道社会福祉協議会との連携
 ・北海道社会福祉協議会理事会への参画(佐川会長)

ウ 市町村民生協協活性化事業

(ア) 市町村民生協協活性化事業
 (1) 第3次活動指針の取り組み
 (2) モデル指定市民協への助成
 令和3～5年度テーマ特化型指定地区
 旭川市忠和地区民生委員児童委員協議会 助成総額 100,000円
 令和4～5年度一般事業指定地区
 ・北見市第3民生委員児童委員協議会、旭川市春光中央地区民生委員児童委員協議会
 助成総額 200,000円
 令和5～6年度一般事業指定地区
 函館市第5方面民生委員児童委員協議会、旭川市神居西地区民生委員児童委員協議会、滝川市江部乙地区民生委員児童委員協議会
 助成総額 300,000円
 ・令和5年度ICT整備指定地区
 ・中富良野町民生委員協議会、えりも町民生委員児童委員協議会
 助成総額 200,000円
 (3) モデル指定地区の選考(民生協のあり方検討委員会の開催)
 (4) テーマ特化型指定市民協現地指導(令和3～5年度)
 旭川市忠和地区民生委員児童委員協議会 5回
 (5) モデル指定地区民生協のフォローアップ
 旭川市末広東地区民生委員児童委員協議会 1回
 (イ) 北海道民生委員児童委員活動指針の取り組み
 (ウ) 北海道民生委員児童委員災害時住民救援活動支援事業
 (1) 災害に備える民生委員児童委員ハンドブック(令和4年度版)の普及・啓発
 新任委員(中途委嘱者)に配付
 (2) 災害に備える民生委員児童委員活動研

受章おめでとう
「令和6年春の褒章・叙勲」

令和6年度、春の褒章・叙勲で、受章された民生委員児童委員の方々をご紹介します。(敬称略)

褒章受章者

- 藍綬褒章
 - 山下 紀子 (函館市 現)
 - 中川 恵美子 (室蘭市 現)
 - 中橋 良夫 (赤平市 元)

叙勲受章者

- ◇ 瑞宝双光章
 - 北村 利雄 (網走市 現)
 - 後藤 哲司 (湧別町 現)
 - 国枝 守善 (岩見沢市 元)
 - 吉田 了子 (岩見沢市 元)
 - 水戸 昂温 (増毛町 元)
- ◇ 旭日单光章
 - 中村 雅光 (名寄市 元)

◇ 瑞宝单光章

- 北 祥明 (小樽市 現)
- 村林 秀貞 (小樽市 現)
- 伊藤 勉 (網走市 現)
- 佐藤 雅道 (名寄市 現)
- 井上 幸治 (北竜町 現)
- 荒 武彦 (中標津町 現)
- 鈴木 晴良 (岩見沢市 元)
- 重本 清 (苫小牧市 元)
- 藤谷るみ子 (平取町 元)

令和5年度 正味財産増減計算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで (単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減	
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	147,216	147,216	0	
特定資産運用益	17,280	17,240	40	
受取会費	59,166,000	59,514,000	△ 348,000	
事業収益	4,185,300	4,397,200	△ 211,900	
参加収益	5,524,500	4,690,500	834,000	
委託収益	6,530,794	8,233,428	△ 1,702,634	
受取補助金等	5,777,000	5,727,000	50,000	
受取負担金	9,861,000	9,919,000	△ 58,000	
受取寄付金	0	0	0	
雑収益	116,609	4,056,270	△ 3,939,661	
経常収益計	91,325,699	96,701,854	△ 5,376,155	
(2) 経常費用				
事業費	80,119,873	82,772,867	△ 2,652,994	
給料	17,275,101	16,496,901	778,200	
諸手当	8,422,990	8,321,039	101,951	
賞与引当金繰入額	2,204,684	2,114,429	90,255	
退職給付費用	1,098,000	1,098,000	0	
福利厚生費	6,157,983	5,741,132	416,851	
会議費	172,192	121,259	50,933	
旅費交通費	4,686,261	4,680,080	6,181	
通信運搬費	2,317,966	2,431,900	△ 113,934	
減価償却費	884,859	1,638,211	△ 753,352	
消耗品費	830,811	1,220,908	△ 390,097	
印刷製本費	8,214,358	12,879,754	△ 4,665,396	
光熱水費	1,083,791	1,007,590	76,201	
使用貸借料	10,162,991	8,865,333	1,297,658	
支払手数料	131,649	178,774	△ 47,125	
筆耕翻訳料	104,000	405,776	△ 301,776	
電算維持費	594,177	655,736	△ 61,559	
購読料	52,343	55,547	△ 3,204	
講師等謝金	1,678,800	1,912,000	△ 233,200	
講師等旅費	1,944,217	1,350,841	593,376	
業務委託費	6,674,559	5,038,765	1,635,794	
支払負担金	83,500	69,400	14,100	
支払助成金	906,641	1,444,492	△ 537,851	
支払給付金	4,208,000	4,845,000	△ 637,000	
支払負担金	230,000	200,000	30,000	
雑費	0	0	0	
管理費	12,591,232	13,180,004	△ 588,772	
役員報酬	80,000	90,000	△ 10,000	
給料	3,996,255	3,735,855	260,400	
諸手当	2,295,376	2,350,836	△ 55,460	
賞与引当金繰入額	600,581	570,511	30,070	
退職給付費用	342,000	342,000	0	
福利厚生費	1,597,383	1,561,342	36,041	
会議費	58,642	65,816	△ 7,174	
旅費交通費	1,530,740	2,102,727	△ 571,987	
通信運搬費	213,986	285,570	△ 71,584	
減価償却費	108,775	201,215	△ 92,440	
消耗品費	67,215	97,462	△ 30,247	
印刷製本費	226,956	123,456	103,500	
光熱水費	133,959	124,540	9,419	
使用貸借料	370,884	581,581	△ 210,697	
支払手数料	13,153	19,428	△ 6,275	
電算維持費	52,294	53,553	△ 1,259	
購読料	7,969	8,165	△ 196	
業務委託費	126,677	21,921	104,756	
租税公課	26,700	28,900	△ 2,200	
支払負担金	104,500	104,500	0	
支払引当金	0	0	0	
雑費	637,187	710,626	△ 73,439	
経常費用計	92,711,105	95,952,871	△ 3,241,766	
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 1,385,406	748,983	△ 2,134,389	
基本財産評価増減	0	0	0	
特定資産評価増減	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	△ 1,385,406	748,983	△ 2,134,389	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
受取寄付金	4,481,936	2,412,977	2,068,959	
経常外収益計	4,481,936	2,412,977	2,068,959	
(2) 経常外費用				
除去損失	8	0	8	
支払助成金	4,481,936	2,305,035	2,176,901	
経常外費用計	4,481,944	2,305,035	2,176,909	
当期経常外増減額	△ 8	107,942	△ 107,950	
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 1,385,414	856,925	△ 2,242,339	
他会計振替額	0	0	0	
税引前当期一般正味財産増減額	△ 1,385,414	856,925	△ 2,242,339	
法人税、住民税及び事業税	20,000	20,000	0	
当期一般正味財産増減額	△ 1,405,414	836,925	△ 2,242,339	
一般正味財産期首残高	50,019,484	49,182,559	836,925	
一般正味財産期末残高	48,614,070	50,019,484	△ 1,405,414	
II 指定正味財産増減の部				
特定資産運用益	0	4	△ 4	
一般正味財産への振替額	0	△ 107,942	107,942	
当期指定正味財産増減額	0	△ 107,938	107,938	
指定正味財産期首残高	45,120,000	45,227,938	△ 107,938	
指定正味財産期末残高	45,120,000	45,120,000	0	
III 正味財産期末残高	93,734,070	95,139,484	△ 1,405,414	

修会の開催
令和5年11月13日(月)
札幌市・北海道自治労会館
552名
(対面140名、オンライン412名)
(3)被災地民児協支援募金」の募集
令和6年能登半島沖地震
3,893,037円
(正)民生委員児童委員協議会のあり方に関する検討
(1)民協のあり方検討委員会の設置・運営
委員会の開催 4回
答申書の受理 3件
(2)各種研修事業の企画・運営協力等
民児協事務局職員研修会、全道民児協
会長・副会長研究協議会、中堅民生委員
児童委員教室 in おたる・ひやま、災害
に備える民生委員児童委員活動研修会、
土別市民生委員児童委員協議会視察研
修受け入れ、民生委員児童委員初任者

研修テーマ特化型指定民協現地指導、市町村民協活性化事業モデル指定民協フックアップ研修、市町村民生委員児童委員協議会等基本調査、旭川市末広東地区民協防災訓練動画作成
他1 民生委員児童委員の互助共済及び福利厚生等事業
ア 互助共済・連絡事業
(ア)民生委員児童委員互助共済事業の運営
互助共済事業運営委員会の開催 1回
互助共済事業給付決定額 333件
4,208,000円
(イ)民生委員児童委員活動システムの運用
(ウ)民生委員・児童委員活動保険取扱事務
イ 広報紙発行事業
(ア)広報紙「アンテナ道民児連」の発行

3年3回発行、1回10、800部(全会
員に配布)
ウ 全道物故民生委員児童委員慰霊祭事業
(ア)慰霊祭の執行
令和5年6月12日(月)札幌市・円山公園
北海道方面委員慰霊碑前
・合祀数166柱、
累計合祀数10、590柱
工 退任委員感謝状贈呈事業
感謝状贈呈者 136名
オ FAX情報 道民児連事務通信事業
(ア)FAX情報 0回
(イ)道民児連事務通信 6回
カ 支部長セミナー、地区(振興局)支部長、
町村民児協会長、事務局会議開催事業
(ア)支部長セミナー開催事業

令和5年4月11日(火)12日(水)
札幌市・ホテルポールのスター札幌
48支部 48名出席
(対面40名、オンライン8名)
(イ)地区支部長町村民協会長事務
局会議開催事業
令和5年11月6日(日)
札幌市・ホテルポールのスター札幌
46支部100町村 262名出席
(対面141名、オンライン121名)
(ウ)民協事務局職員研修会開催事業
令和5年4月12日(水)13日(木)
札幌市・ホテルポールのスター札幌
93名参加(対面39名、オンライン54名)
法人運営管理事業
本連盟組織・事業等の運営推進
(ア)正副会長会議の開催 6回

(イ)理事会の開催 5回
(ウ)評議員会の開催 2回
(エ)支部長会議の開催 1回
(オ)監事監査の実施
(カ)理事、評議員の異動
(キ)北海道業務完了検査
(補助事業、委託事業)
(ク)表彰、褒章、叙勲
(ケ)弔慰
(コ)月例職員会議の実施
(ク)事務局職員の研修参加
イ 予算対策運動等の推進
ウ 公益法人制度として求められる適正な
法人運営
(ア)定期提出書類 2件
(イ)変更届出書類 0件

アマテラスの暗号(上・下巻)



伊勢谷 武著
宝島社文庫
各840円(税込)

■内容

「元ゴールドマン・サックス・ニューヨークのトレーダー、ケンシ(賢司)」は、日本人である父との四十数年ぶりの再会の日、父がホテルで殺害されたとの連絡を受けます。

父は日本で最も長い歴史を誇る神社の一つ、丹後・籠神社の宗家出身の第八十二代目宮司でした。籠神社は伊勢神宮の内宮と外宮の両主祭神(アマテラスと豊受)がもともと鎮座していた日本唯一の神社で、境内からは一九七五年、日本最長の家系図『海部氏系図』が発見され、驚きとともに国宝に指定されていました。父の死の謎を探るため、賢司は元ゴールドマンの天才チームの友人たちと日本へ乗り込むことに。

皇居内にある禁秘の神殿、宮中二殿。歴史の厚いベールに覆われた神殿の、平安時代から続けられる儀式

の数々。日本の神社に描かれる六芒

星は、ユダヤの神聖な図形。事実に基づく多くの資料を引用しながら日本人とユダヤ人の知られざる関係性を描きながら、物語は進みます。果たしてその行きつく先は…。

神道とはなにか。天皇家の正統性とはなにか。日本人はどこからきたのか。私たちのルーツでありながら多くにとってタブー視されてきたこの疑問を、ミステリーのかたちを借りて迫る本書は、膨大な引用資料がエビデンスとなっているために、一般的なミステリーのようない読者の推理をかき立てる面は希薄です。添えられた資料の解釈には、人それぞれで相違があるかもしれませんが、陰謀論と一笑に付すことはできない面白さに満ちています。

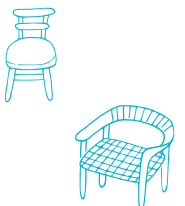
昨夏の岸田総理が夏休みのみとした傑作が、文庫化されて再登場。

エッセイ



13 面倒のバロメーター

鳥居 一頼



ひときつなぐ

面倒のバロメーターが上がると

厄介なことになったと緊張する

とても一人じゃやり切れない

解決できるかどうか不安が走る

関わった瞬間から覚悟する

厄介なことは避けられない

いまの力量ではとうてい担えない

解決の糸口さえも見えてこない

面倒のバロメーターが動き出す

責任感で追い立てられて指数がブレる

使命感で追い詰められて指数がアップする

義務感で追い込まれて指数がダウンする

面倒のバロメーターが危険を知らず

経験豊富な頼れる仲間がいる

何事にも動じない笑顔の仲間がいる

解決へ導く冷静な仲間がいる

ひとりで決して悩まない

面倒見のいい仲間が面倒から解放する

ひとりぼっちに決してしない

面倒に感じる仲間が萎えた心を癒す

ひとりをみんなで支える

面倒が仲間のきずなをさらに強くする

面倒のバロメーターは正常値に戻る

【筆者紹介】

鳥居 一頼(トリイ カズヨリ) 1949年生、登別市出身、北海道教育大卒。道内で18年間教壇に立つ。道教委、道庁などに勤務後、室蘭・登別で小学校校長歴任。その後関西の私立大学の教授。現在、登別市きずな大使として市社協の地域福祉実践計画推進を支援するかたわら、地域福祉アドバイザーとしても活動している。社会福祉法人北海道友愛福祉会理事。また道民児童が令和5年より設置した「民児協のあり方検討委員会」の委員長を担われている。「民生委員児童委員のためのワークショップのすすめ」(道民児童2021年刊)の中で詩集「情緒は私を支配する。論理よりも強く」が教材化され、初任者研修では詩をもちいた斬新な研修スタイルが評価されている。主な著書に「子どもと学ぶボランティア」こっちょのボランティア授業論(大阪ボランティア協会など)。